日本キリスト教団 東金教会〔１８〕

２０１９年５月５日復活前第３主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	藤本里	
奏楽	中田	
受付	王	
案内	藤田	
名札係	藤谷	
礼拝感謝祈祷	阿波部	
〃　〃	岡	
前奏	中里	
讃美歌	１５	一同
信仰告白		〃
交読文	１７	司・会衆同
主の祈り	５６４	一同
聖書	コロサイ書	司会者
４章２節～４節		
祈祷	藤本	
新聖歌	４２１	一同
み言葉の伝え	中村	
〈キリストの秘められた計画〉		
讃美歌	５３６	一同
転会式		
聖餐式	配餐者……	宮中
		足立
	祈祷者……	藤田
		岡村
讃美歌	５３４	一同
献金		
礼拝感謝	阿波谷	
〃　〃	岡部	
報告	藤本	
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)	中村	
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　５月8日(水)午後7:30～
早天祈祷会　休会（～５月６日まで）
聖歌練習　本日礼拝後
臨時長老会　本日「聖歌練習」後
聖書輪読会　５月12日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　５月12日(日)10:25-10:30

【報告】

☆４月分の献金報告が出来ております。週報棚または受付にてお取り下さい。
☆本日の転会式で椎名　　兄が東金教会の群に参加され、共に歩む信仰のお仲間になりました。宜しくお願い致します
☆去る4月29日持たれました教会学校春の遠足は子供32人、大人35人、総勢６５名で事故なく行ってまいりました。ご加祷有難うございました。
☆本日は総会資料提出日です。宜しくお願い致します。
☆ペンテコステ案内(6月9日)が出来ております。お覚え下さい。
☆次週は教会学校で母の日礼拝がもたれます。お母さんがたが多くこられます。教会に繋がりますようお祈り下さい。
☆今年の一泊夏期キャンプは７月23(火)・24日(水)と、早くもたれます。申込締切は６月１６日までです。また、教会学校一日夏期学校は7月26日(金)に持たれます。お子さん、お孫さん等お寄越　し下さい。

※２０１９年度教会総会日程は５月１９日が教会総会、１２日が総会資料作り、５日が資料提出日です。お覚え下さい。

【分区・支区・教区報告】

○5/7　東総分区牧師会　10:30- 於・九十九里
○5/28　東京教区総会　10:00- 於・富士見町
※2019年度の東金教会学園理事・評議員会は５月23日(木)に予定しております。

【５月５日～5月１１日の誕生者】

○土屋　　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(4/28)	１７	２６	４３
聖研祈祷会(5/1)	３	４	７
聖書輪読会(4/28)	３	３	６
教会学校(4/28)	８	１２	２０

早天祈祷会			
日	男	女	計
4/29			
4/30			
5/1			
5/2			
5/3			

主日礼拝献金(４/28)……４９,０３４円
教会学校献金(４/28)……１８,０００円

【今日のメッセージ】

題　［キリストの秘められた計画］
聖　書　コロサイ書4章2節～４節

「絶えず祈り続けなさい。感謝のうちに祈り、目を覚ましていなさい。同時に私たちのためにも祈って欲しい。神様がみ言葉のために門を開いてくださり、私たちがキリストの秘儀を語れるように祈ってほしい、私はこの秘儀のために鎖に繋がれているのです。私が語るべきことを、はっきり語れるように、祈ってほしい。

【次週(５月１２日)礼拝案内】

題　〈仲間たち〉
交読文　１８
聖書　コロサイ書４章５節～９節
讃美歌番　　番
新聖歌番

【次週(５月12日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	中村
司式者	…	安田
奏楽者	…	中上
受付者	…	澤立
案内者	…	梅田
名札当番	…	井谷
礼拝感謝祈祷	…	足部
〃　〃	…	梅山
cs お話し	…	阿部
会堂清掃者	…	岡波
〃　〃	…	深
花係	…	岡
看板書き	…	戸

【聖書から】

妻たちよ、主を信じる者にふさわしく、夫に仕えなさい。夫たちよ、妻を愛しなさい。…子ども達、どんなことについても両親に従いなさい。…父親たち、子どもを苛立たせてはならない。

コロサイ書四一～二一節

ここでパウロは家族の基本的な在り方について注意を向けている。家族の問題は何時の時代、どの場所においてもゆるがせに出来ない大切な問題である。なぜなら単独者なる「我」の最も身近に居るのが妻であり、夫であり、子であり親であるからだ。地上の肉の交わりにおいて最も身近であり、慰めとなり、喜びとなり、互いに心配したり助け合ったり、励ましあったり、あるいは仮面を着けることなく喜怒哀楽をそのまま表現でき、それを受入れてもらえるのが家族である｜少なくとも一般に最も身近にそれを感じられる場と考えられているのが｜家族であるからだ。己独りが抱えなければならないものも私達には確かにある。そのこととは出来ないにしろ、己の次に位置する家族こそ問題の受け手であるのが一般である。　そのような家族の関わりをどう持つべきか。この問題に理想的な家族形成に成功したと言う人は希有であろう。私達の大部分は家族関係で上手く行かない問題を抱えている。夫婦間親子間で何も問題がない、殆ど問題がないなどと言う人はいない。互いに心配し、互いに願い、それでありながら願うことに食い違い、思い悩むのが私達である。どうしたら良いのだろうか。そして、この問いに私達信仰者は一つの解決の鍵を持っている。祈ることである。祈りを通し神からの解答を待ち。解答を与えられることを信じ祈りの場から逃げないことである。祈りは祈る者の信仰が問われるのである。家族についての祈りは積み上げられれば積み上げられる程、祈り手が謙遜にさせられ、相手を良く見るようにさせられると思う。そこにおいて初めて己の要求を優先するのでなく、相手の願いが己の問題となり、共に解答を見出す関係になって行く。そういう家族でありたいと思う。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。